

平成 30 年度 事業報告書

目 次

1. はじめに.....	1
(1) 平成30年度の社会状況.....	1
(2) 皆様からの支援.....	2
(3) 法人全体の取り組み状況.....	2
(4) 役員構成.....	4
2. 障害者支援施設リバティ神戸 事業報告.....	5
(1) 事業所の概要.....	5
(2) ご利用状況について.....	5
(3) サービスの内容.....	6
3. 身体障害者デイサービスセンターリバティ神戸 事業報告.....	8
(1) 事業所の概要.....	8
(2) ご利用状況について.....	8
(3) サービスの内容.....	8
4. はみんぐ 事業報告.....	10
(1) 事業所の概要.....	10
(2) ご利用状況について.....	10
(3) サービスの内容.....	10

社会福祉法人祉友会

1. はじめに

(1) 平成30年度の社会状況

平成30年度は、西日本豪雨、大阪府北部地震、北海道胆振東部地震、台風21号による大規模停電など、広域の自然災害が多い年でした。特に北海道の大規模停電については、発電と需要のバランスを一定の範囲に保つ必要性が明確な形で現れたものであり、これからの低炭素社会に向けた再生可能エネルギー導入に際し、自家発電や蓄電池などを用いた建物単位の電力の自立と、太陽光など再生可能エネルギーの発電力の維持・調整力の向上について考えさせられました。

社会分野では、天皇陛下の譲位が決まってから国民の間では「平成最後」を意識した言葉が聞かれるようになり、過去30年間で振り返るイベントなどが見られました。また、共に経済大国である自由主義経済のアメリカと社会主義の中国との通商問題が表面化し、人権問題や他国との外交などでも対立が見受けられました。

経済分野では働き方改革が始まり、残業時間の制限や有給休暇の5日取得義務など、労働者の権利保護が進む一方、長く続いた景気回復や労働人口の減少を受けて多くの業種で人手不足が深刻となり、企業でも「働きやすさ」が問われる時代となりました。

また、QRコードを使ったモバイル決済サービスが始まりましたが、これまでの電子マネーと同様に複数のプラットフォームに別れていることや、セキュリティなどの課題を残しました。

社会福祉分野では、医療・介護・障害の報酬改定があり、これまで以上に良質なサービスを提供しているかどうかを問われるようになりました。また、官公庁での障害者雇用水増し問題があり、行政や企業がどのように障害者の雇用を増やすのかが課題になりました。そのほか、地域住民と協働での社会福祉活動、外国からの労働者の受け入れなどについて取り組みがされました。

(2) 皆様からの支援

このような社会情勢の中、主に障害福祉サービスの利用料収入と補助金・助成金など、皆様からの支援を受け以下の取り組みを実施しました。

(ア) 法人が頂いた補助金・助成金など

- ① 神戸やまぶき財団 様 送迎車両購入の助成金 335 万円
- ② 神戸市
 1. 保健福祉局様 施設整備資金等補助 64 万円
 2. 環境局様 太陽光発電と蓄電池システムへの助成金 200 万円
 3. 水道局様 上下水道料金の一部減免
- ③ 利用者ご家族様 施設運営への寄付金 4 件 4 万円

(イ) ボランティアの皆様

- ① 入所者個人への定期的な学習支援のほか、行事での機材レンタル、各事業所で日中活動などにご協力いただきました。

(3) 法人全体の取り組み状況

(ア) 経営面では、

- ① 職員数の増加と待遇改善により人件費が増えましたが、利用人数が安定していたことと設備投資が少なかったことにより、黒字を確保しました。
- ② 災害対策と低炭素社会の実現のため、リバティ神戸に太陽光発電と蓄電池設備を新設しました。
- ③ ムース食を使った食事の経口摂取維持と改善に取り組みました。
- ④ 法人内の3事業所による合同行事として、食事交流会を実施しました。限られたものではありませんが、入所者と通所利用者との交流をすることができました。
- ⑤ リバティ神戸の消防設備を点検し、新たにスプリンクラー設備の追加・非常用発電機の修理を行いました。
- ⑥ 老朽化した入所施設の送迎車両1台について、補助金を使い更新準備をしました。
- ⑦ 近隣の生活介護事業所の閉鎖に伴い、通所利用者受け入れを検討しました。
(条件が合わず、結果的には受け入れ出来ませんでした。)

(イ) 人事面では

- ① 介護休業・育児休業・再雇用制度については、申請者全員が利用し、有給休暇についてもパート職員の使用・連休の使用等が定着し、正職員の使用率では78.4%（ユースエール認定基準により計算）となりました。
- ② 職員待遇の改善を続けた結果、直近3年間の新卒採用職員 離職者が0名となり、厚労省2018年度ユースエール企業認定を受けました。
- ③ 公正な人事評価を行うための人事委員会制度を実施しました。
- ④ 職員の採用が困難なため、年間を通して採用活動を行いました。
- ⑤ 資格取得に取り組んだ結果、介護福祉士3名、看護師1名が合格しました。
- ⑥ 職員互助会を発展的に解消し、平成31年度より「神戸市勤労者福祉共済制度 ハッピーパック」に加入しました。
- ⑦ 団体活動である「職員クラブ活動助成制度」を発展的に解消し、平成31年度より2名以上の活動ごとに毎回支給する「職員余暇活動等助成制度」を設けました。

(ウ) 報酬外で無償・低価格な福祉サービスを行う取り組みについて

- ① 施設入所者の外出付き添いと無料送迎をしました。
- ② インターネット環境の無料提供をしました。
- ③ ご家族がおらず、自分で買い物が出来ない利用者について、無償で買い物代行をしました。
- ④ 看取り介護の実施体制を行いました。
- ⑤ 「身障協チャレンジ応援プランモデル事業」として、地域移行を目指して退所した身寄りのない高次機能障害を持つ地域の障害者1名に対し、アパート契約の連帯保証人や引っ越し手伝い、銀行手続き、病院受診の送迎・付き添いなどの支援を無料で行いました。
- ⑥ 福祉避難所の設置について機材などの準備をしました。

(エ) 情報公開では、

- ① 法人のウェブサイトでは決算書類などを積極的に公開しました。
- ② 事故・怪我・病気などについては、利用者のご家族・行政へ随時報告しました。

(オ) 業務の改善について

- ① 残業を減らすために、会議等を原則就業時間内に行うようにしました。

- ② 年間の事務について、年間スケジュール表に登録し管理しました。
- ③ 新入職員研修について、整理・改善しました。
- ④ 感染症対策として、定期的な血液検査を実施し、入所部門では介護用エプロンをディスポーザブル用品（毎回交換・処分）にしました。
- ⑤ 新しい支援記録システム「福祉見聞録」を導入し、支援記録を充実させました。
- ⑥ はみんぐ職員の通勤のため、近隣で駐車場を確保しました。
- ⑦ リバティ神戸北側の屋外避難通路の整備を行いました。

(カ) 福祉団体を通じた地域公益活動について

- ① 神戸市内
神戸市西区自立支援協議会（KOBE WEST NET）、ほっとかへんネット Kobe・西、神戸市身体障害者施設連盟
- ② 兵庫県内
兵庫県身体障害者支援施設協議会、兵庫県社会福祉施設経営者協議会、兵庫県社会福祉議会
- ③ 広域・全国
近畿地区身体障害者施設協議会、全国身体障害者施設協議会、全国重症心身障害日中活動支援協議会

(4) 役員構成

役職	氏名	勤務形態 担当
理事長	山本文夫	非常勤
業務執行理事（施設長）	柴田健吾	常勤、リバティ神戸
理事	藤本徹	非常勤
理事（管理者）	山下華代	常勤、はみんぐ
理事	山本晴幸	非常勤
理事	村山吉康	非常勤
監事	仲間正	非常勤、財務担当
監事	中田義則	非常勤、運営担当

その他各事業所の詳細については、以降各章の通りです。

当法人と施設運営に対しご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

2. 障害者支援施設リバティ神戸 事業報告

(1) 事業所の概要

所在地	神戸市西区伊川谷町潤和2-2 (2~3階)	
施設種別及びサービス種類 ／ 定員	障害者支援施設 ● 施設入所支援 52名 ● 生活介護 57名 ● 短期入所 (併設型)	
居室	1人部屋 5室 2人部屋 26室 (計57床)	
主な対象者	18歳以上の身体障害者で施設に居住される方。	
営業日	年中無休。	
営業時間	● 施設入所支援 午後5時から翌午前9時まで ● 生活介護 午前9時から午後5時まで ● 短期入所 午前9時から翌午前9時まで	

(2) ご利用状況について

施設入所支援・生活介護のご利用者

年度初めの入所者52名から1年間で入所3名・退所4名があり、最終的に年度末では51名でした。

その結果、施設入所支援の利用者が述べ1万8034名(前年比+2名)、生活介護の利用者が1万3415名(前年比+8名)となりました。

年度末における入所ご利用者の年齢構成は、19歳から81歳であり、60歳以上の方が26名(前年比-2名)で全体に占める割合が51%、平均年齢は56.3歳(前年比-1.2歳)で、昨年度から平均年齢が若干下がりました。男女の比率は男性が27名、女性が24名です。施設報酬区分の基礎となる平均障害程度区分は施設入所支援及び生活介護が5.7(前年比+0.1)となっております。

新規入所者の傾向としては、身寄りのない方やご家族の高齢化・ご病気などによる入所が多くなっています。

短期入所のご利用者

利用人数は延べ1071名(前年比-41名)でした。平均障害程度区分は5.5(前年比-0.1)です。

定期的なご利用のほか、将来に備えた訓練的なご利用、介護者の急な入院などによる当日または翌日の緊急受け入れなどを行いました。

(3) サービスの内容

下記の通りサービスを実施いたしました。

日常のスケジュール

7:00	起床・洗面・着替え	理学療法	随時(月～金曜)
8:00	朝食・歯磨き・服薬	作業療法	毎週1回
9:00	体操・清掃	医師回診	毎週1回(日曜)
10:00	水分補給	シーツ交換	毎週1回(週末毎)
12:00	昼食・歯磨き・服薬	コップ漂白	毎週1回(日曜)
13:00 ～ 15:40頃	入浴(月・木 一般浴)※ (火・金 機械浴)※ 喫茶コーナー	体重測定	月1回
14:00	水分補給	買い物代行	毎週1回(木曜)
18:00 18:30	夕食・歯磨き・服薬	パン訪問販売	毎週1回(金曜)
夕食後	非入浴者清拭・着替え	理容訪問サービス	月2回(第1・4週)
19:00	水分補給	洋服訪問販売	年数回
20:00	眠前薬服用	洗濯	毎日
21:30	消灯・就寝	お菓子作り	2ヶ月に1回程度
		外出支援	年2回+随時
		訪問口腔ケア活動	毎週1回(火曜)

※夏季については、週3回入浴です。

年中行事／クラブ活動

4月	お花見(1.7.8日) お菓子作り(25日) のじぎくスポーツ大会(29日)	月例行事 (毎月1回) ・誕生日会・茶話会 ・ビデオ鑑賞会 ・入所者自治会(ハイビス会) ・クラブ活動 おしゃれクラブ オセロクラブ 書道クラブ 俳句・絵画クラブ カラオケクラブ 音楽療法活動 生け花
5月	レストランメニュー(12日) 低カロリーお菓子作り(12日) 健康診断(24日)	
6月	スポーツ大会(9.10.16日) 遠足(2.24日) お菓子作り(28日)	
7月	七夕会(7日) 遠足(14.21.28日) 低カロリーお菓子作り(25日)	
8月	遠足(11.22.26日) 夏祭り(18日)	

9月	音楽ボランティア (5日) 避難訓練 (19日) 遠足 (1.15.26日) 低カロリーお菓子作り (26日) ハンドマッサージ (26日)
10月	遠足 (3日) レストランメニュー (6日) 一泊旅行 (10~11日) お菓子作り (31日) ハンドマッサージ (31日)
11月	3事業所交流会 (16日) 健康診断 (29日) ハンドマッサージ (21日)
12月	クリスマス会 (22日) 年越し (31日)
1月	元旦 (1日) 初詣 (2.3.6日) 新年会 (9日) ハンドマッサージ (31日)
2月	節分豆まき (3日) V.Dお菓子作り (13日)
3月	ひな祭り (3日) 避難訓練 (6日) W.Dお菓子作り (13日) お花見 (30.31日)

健康管理

- ① 利用者の健康管理に関しては毎週日曜日の嘱託医師診察と、火曜日の歯科医の口腔ケア、年2回の健康診断を実施すると共に、必要な場合は適時受診を行い体調の維持に努めております。
- ② リハビリでは、平日（月～金曜日）に理学療法士による機能訓練を実施し、さらに毎週1回の作業療法士による機能訓練を実施しました。

食事の提供

管理栄養士によって随時メニューを変更し、大量調理マニュアルに添いながら、出来るだけ利用者の嗜好に合った食事の提供を心がけました。

3. 身体障害者デイサービスセンターリバティ神戸 事業報告

(1) 事業所の概要

所在地	神戸市西区伊川谷町潤和2-2 (1階)
施設種別及びサービス種類 ／ 定員	指定障害福祉サービス事業所 生活介護 20名
主な対象者	神戸市西区・明石市の一部の自宅から通う18歳以上の身体障害者
営業日	月曜～金曜日まで。その他、年末年始・盆・臨時に休業
営業時間	午前8時30分から午後5時30分まで (サービス提供時間は午前9時から午後3時10分まで)
送迎車両	ワンボックス 4台 (車いす仕様)

(2) ご利用状況について

ご利用者

1年間の生活介護利用者数は営業日数248日に対し延べ4,050名(前年比-3名)、1日平均16.3名(前年比±0名)でした。

生活介護の年度末における利用登録者の年齢構成は、18歳から51歳です。

男女の比率は男性が15名、女性が9名となっております。

平均障害度程度区分は5.8(前年比±0)と、契約者に若干の変動がありましたが、昨年度同様に医療的ケア(胃ろう・呼吸器者・導尿・ストマー等の処置)の必要な重度者割合が高くなっています。

(3) サービスの内容

介護・食事・訓練・入浴・送迎など在宅者に向けた生活介護サービスを実施しています。日中活動には力を入れており、午前中は個別支援計画に添って個別活動を行い、午後は想像力や感情表現を豊かに養っていただけるようにグループ毎に分かれてそれに因んだゲーム等を行い、集団活動を愉しんで頂きました。

日常のスケジュール

8:30	送迎開始	機能訓練 週4回(火～金曜) 体重測定 2ヶ月に1回 パン訪問販売 毎週1回(金曜) 理容訪問サービス 月2回(第1・4週) 更生・健康相談 随時 御家族との面談 半年毎
9:00 (到着後)	健康チェック・入浴 レクリエーション 支援計画に沿った個別活動 社会適応訓練・創作活動	
11:30	昼食・歯磨き・服薬	
12:30	リラックスタイム レクリエーション・社会適応訓練・入浴・創作活動 支援計画に沿った個別活動	
15:10	送迎開始	
17:30	業務終了	

年中行事

4月	ランチ外出(17～19日)	月例行事 ・誕生日会(毎月1回) ・ビデオ鑑賞会(随時) ・カラオケ(随時) ・デイサービス便りの配布(毎月1回) ・散歩外出(随時)
5月	母の日のプレゼント作り 散歩外出	
6月	父の日のプレゼント作り 屋外お楽しみランチ会(5.13日)	
7月	七夕ゲーム大会(5～6日)	
8月	夏祭り(9～10日)	
9月	散歩外出 クッキング	
10月	散歩外出 おやつ作り	
11月	遠足 淡路島(1日) 遠足 フルーツフラワーパーク(9日) 合同行事(16日)	
12月	クリスマス会(20～21日)	
1月	新年会(4日) 初詣(15～17日)	
2月	バレンタインクッキング(12～13日)	
3月	ひな祭りゲーム大会(1日)	

4. はみんぐ 事業報告

(1) 事業所の概要

所在地	神戸市西区和井取 1-12
施設種別及びサービス・定員	指定障害福祉サービス事業所 ● 生活介護 20名
主な対象者	神戸市西区・明石市の一部の自宅から通う 18 歳以上の身体障害者
営業日	月曜日から金曜日まで。その他、年末年始・盆・臨時に休業。
営業時間	午前 9 時から午後 3 時まで
指定年月日	指定障害福祉サービス事業所 平成 25 年 5 月 1 日
送迎車両	ワンボックス 1 台 (車いす仕様) 給食用運搬車 1 台

(2) ご利用状況について

1 年間の生活介護利用者数は営業日数 251 日に対し述べ 3,622 名 (前年比+41 名)、1 日平均 14.4 名 (前年比±0 名) でした。生活介護の年度末における利用登録者の年齢構成は、19 歳から 52 歳で若い方が中心で平均年齢は 30 歳、男女の比率は男性が 16 名、女性が 14 名となっております。

平均障害程度区分は 5.9 (前年比+0.1) と、医療的ケア (吸引、吸入、胃ろう、自己導尿など) の重度者割合が高くなっています。退所者 1 名は就労継続支援 B 型へ移行されました。

(3) サービスの内容

- ・特別支援学校卒業見込の生徒の実習受け入れや、日中活動に力を入れています。特に、ボランティア活動者との共同レクリエーションや高等学校との定期交流などは、開園当初から継続しています。
- ・法人内事業所リバティ神戸の短期入所を併用されている利用者の送迎を行いました。
- ・他事業所からの見学や研修希望を積極的に受け入れました。
- ・西区自立支援協議会 (WESTNET) のつながりを活かし、西区内の就労継続支援 B 型事業所と交流をはかりました。

日常のスケジュール

8:30	送迎開始	機能訓練 週4回 体重測定 2ヶ月に1回 更生・健康相談 随時 御家族との面談 半年毎
9:00 (到着後)	健康チェック・入浴 レクリエーション 社会適応訓練・創作活動	
12:00	昼食・歯磨き・服薬	
13:40	レクリエーション・社会適応訓練・創作活動・支援計画に沿った個別活動	
15:00	送迎開始	
17:30	業務終了	

年間行事

4月	お花見散歩(10日～1週間)	月例行事 ・誕生日外出 ・ボランティア活動者による コーヒー喫茶(第2火曜日) ・カラオケ(随時) ・はみんぐ通信配布(毎月1回) ・紙芝居ボランティア(毎月1回) ・絵本読み聞かせボランティア (2か月毎)
5月	バーベキュー大会(17日、30日)	
6月	バーベキュー大会(12日) 夏祭り準備月間	
7月	夏祭り(19日、20日)	
8月	西区自立支援協議会ワールドカフェ参加(28日)	
9月	避難訓練(20日)	
10月	散歩(随時)	
11月	加西フラワーパーク遠足(7日・10日) 法人合同ランチ会(16日)	
12月	忘年会(3日・4日) 星陵高校コーラス部コンサート(21日)	
1月	西区自立支援協議会ワールドカフェ参加(18日)	
2月	アンコーラ演奏会ボランティア吹奏楽演奏(20日)	
3月	西区自立支援協議会当事者ネットワーク参加(5日) 避難訓練(19日)	